

5 類への位置づけ変更に伴う対応について

(4 月 28 日)

新型コロナウイルス感染症は、国内での発生から 3 年余りを経て、感染症法上の位置づけが 5 類感染症へと見直されることとなりました。

位置づけの変更に伴う国の方針のもと、医療提供体制は、行政の関与を前提とした限られた医療機関による特別な対応から、幅広い医療機関による自律的な通常の対応に移行していくこととなります。

また、これまで法や基本的対処方針に基づき実施してきた各種の措置は終了するとともに、基本的な感染対策についても、行政が一律に対応を求めるものから、個人や事業者が自主的に取り組んでいただくものとなりますが、ウイルスそのものが消失するわけではありません。

市民の皆様には、引き続き感染に十分注意しながら生活を送っていただくきますようお願いいたします。

I 基本的な感染対策

5 類への位置づけ変更に伴い、感染対策については、個人や事業者の判断に委ねることが基本となりますが、着用が効果的な場面でのマスクの着用や、手洗い等の手指衛生、換気など、有効とされる基本的な感染対策に引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。

【基本的な感染対策についての政府の考え方】

○5月8日から

○個人や事業者の判断に委ねることを基本とする

○行政が一律に求めることはなくなり、個人や事業者は自主的な感染対策に取り組む
(政府は、感染症法に基づき、個人や事業者の判断に資する情報を提供)



○参考（5月7日まで）

・法等に基づき、行政が一律に要請や呼びかけを実施

「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の基本的な感染対策の考え方について」（令和5年3月31日付厚生労働省事務連絡）

○マスクの着用

個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本。（高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、着用が効果的な場面では、マスクの着用を推奨）

○手洗い等の手指衛生、換気

新型コロナウイルス感染症の特徴を踏まえた基本的感染対策として引き続き有効

○「三つの密」の回避、人と人との距離の確保

流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

Ⅱ 基本的対処方針等に基づく取組

5類への位置づけ変更に伴い、政府の基本的対処方針や業種別ガイドラインは廃止されることから、これらに基づき実施している以下の取組も終了

【イベントの開催制限】

○5月8日から

○イベント開催時のチェックリスト作成・公表や、安全計画の策定は不要に
(基本的対処方針に基づく開催制限は終了)



○参考（5月7日まで）

・チェックリストの作成・公表、感染防止安全計画策定により収容定員での開催が可能

【飲食店における第三者認証制度】

○5月8日から

○飲食店でのパーティションの設置や距離の確保等は事業者の判断に
(飲食店における第三者認証制度は終了)



○参考（5月7日まで）

・認証店（約1万2千店）において、府が定めた基準に基づく感染防止対策を実施

○上記の他、ガイドライン推進宣言事業所ステッカー事業やガイドライン等コールセンターについても5月7日で終了

Ⅲ 療養に関する取扱い

陽性となった場合に、外出を控えるかどうかは、次の事項を参考に個人が判断（法律による外出自粛は求められない。）

○発症時等における推奨・配慮事項

- ・発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は外出を控えていただく（推奨）
- ・その後も10日間が経過するまでは、マスクの着用や、ハイリスク者との接触は控えていただく（配慮）

（令和5年4月14日付厚生労働省事務連絡）

※軽症者等の隔離を目的に運営してきた宿泊療養施設（1施設270床）は、5月7日で終了（他2施設は3/31終了）

IV 5類への位置づけ変更後の体制について

5類への位置づけ変更に伴い、綾部市新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止

- ・ 5月7日をもって、綾部市新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止します。

V 丁寧な広報について

- ・ メッセージの発出（ホームページ、FMいかる等）